

令和6年度

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員に対し指導訓練室が確保できているか	○			運動療育を行うスペースと個別療育のスペースを分け、集中してそれぞれの課題に取り組める環境設定を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか（加算申請をしている場合は基準を満たしているか）	○			加算基準を満たす職員配置をし、個別対応が必要な場合は安全面に配慮した配置を行っています。
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		階段には手すりや滑り止めを設置する等の配慮をしています。
	4	設備等へ安全を配慮した措置がなされているか？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付など）	○			壁の角にはクッション材の取り付け、フロアマットには衝撃を和らげる素材のものを使う等児童の安全に配慮しています。
業務改善	5	業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	○			定期的にミーティングで全職員と業務について話し合う場を設け、より良い支援に繋げています。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート結果から改善策を立て、スタッフに周知し業務改革に繋げています。
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年ホームページで公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は行っていないが、本部の巡回指導を受け、フィードバックされた内容を業務改革に繋げています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に研修を行う事で障害特性の理解度を深め、支援に役立てています。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ニーズや課題をもとに適宜アセスメントを行い、支援者全員の意見を聞きながら、サービス計画作成を行っています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			保護者の面談や子どもの行動から見てきた状況をアセスメントシートに記載しています。
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			平日と休日の活動プログラムを、チームで立案し、各担当の職員が計画、実施しています。
	13	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			週に一回、職員全員で活動プログラムの内容について話し合い、子どもの成長にあったプログラム作成を行っています。
	14	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			平日は運動療育とSSTを中心に、休日は戸外活動を取り入れることで、様々な経験を通し、社会性を身に付けられる支援を心掛けています。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			本人に合った個別活動と集団活動を活動プログラムに入れるように工夫をし、個別支援計画を作成しています。
	16	支援開所前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			送迎前にミーティングで毎回確認を行っています。
17	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	○			終了後に支援の報告を行い、職員間の情報共有を行い、次回の支援に繋げています。	

	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録は毎日記録し、必要な支援についてミーティングで共有し、改善しています。
	19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングを定期的に行い、サービス計画書の見直しに反映させています。
	20	安全に運動遊びができるよう用具の使用方法や支援方法等に工夫や配慮をしているか？	○			支援者は研修で正しい用具の使い方と支援方法を学び、安全な方法で支援を行うようにしています。
	21	お子さんの特性に合わせた支援方法を個々に工夫しているか？	○			職員は研修で特性について学び、個々に合わせた支援を行うよう心掛けています。
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組合せて支援を行っているか	○			ガイドラインに記載されている基本活動を組み合わせた支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議には子どものサービス計画を作成している児発管が参画しています。
	24	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			支援会議や電話等で情報共有を行い、何か起きた時に連絡がスムーズにいくよう配慮しています。
	25	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在受け入れをしていません。
	26	与薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に保護者へ確認をとっているか			○	現在受け入れをしていません。
	27	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			利用前の支援会議で情報共有を行い教室での支援の参考にしています。
	28	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			移行する際の支援会議で情報提供を行い、教室での様子を記した書類の提出も行うようにしています。
	29	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			様々な機関の研修に参加するよう心掛けています。
	30	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか			○	現在は交流の機会は設けていませんが、今後検討いたします。
	31	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			研修等に参加しています。
	32	写真付の連絡帳を作成し、保護者へ活動の内容や様子を共有できているか	○			使用時には必ず写真付きの連絡帳を作成し、利用時の様子を詳しくお伝えできるように工夫しています。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者といつでも連絡が取れるツールと環境を整え、子どもの状況を伝え合い、出てきた課題を支援に繋げています。
34	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			教室で行う支援内容を共有し、家庭でも同じ支援ができるように配慮しています。	
	35	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			見学や契約の際に分かりやすく丁寧に説明するよう心掛けています。
	36	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者の方から相談があった場合は、しっかり話を聞き、必要であれば他機関も入れて助言と支援をしています。

保護者への説明責任等	37	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、実施しておりません。 必要であれば検討していきます。
	38	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合は、すぐに対応し、同じ事が怒らないよう対処します。
	39	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			おたよりで、普段の活動の様子や、避難訓練の様子、教室からのお願ひ事の情報を定期的に発信しています。
	40	個人情報に十分注意しているか	○			職員は雇用契約の際に、個人情報に関する誓約書をかかわし、他に情報を漏らさない事に十分注意するよう心掛けています。
	41	HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	○			契約の際にすべての保護者の方に、写真掲載に関する同意書にサインを頂いております。
	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもに合った視覚支援カードや絵カードを利用し、本人が困らないで活動に参加できるように配慮しています。
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在、実施しておりません。 必要であれば検討していきます。
非常時等の対応	44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			全てのマニュアルを策定し、職員、保護者共に周知しております。
	45	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			非常時の連絡方法や、物品の確認を職員全員で確認し、定期的に避難訓練を行っています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			1年に1回の虐待研修を行い、職員が専門性を持って支援にあたるよう努めています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、サービス計画に記載しているか			○	今は該当者がいませんが、今後必要になった場合は契約時に説明をさせていただきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用時に保護者に説明し、対応しています。
49	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットのファイルを作成し、内容を全員で共有し、事故が起きないよう対策を行っています。	